

2017.11.13

【国際交流】ホーチミン医科薬科大学学生が本学を訪れました

平成 29 年 10 月 24 日から 11 月 2 日までの 10 日間、ベトナムホーチミン医科薬科大学学生を迎え、日本の最先端技術や研究を紹介する2つのプログラムが実施されました。

①医療・福祉分野における最新 ICT・ロボット技術をテーマとしたプログラムでは、少子高齢社会を背景に日本で必要となる遠隔医療や、福祉ロボットの講義、施設訪問等を中心に行いました。福祉現場においての AI は介護者を支援するものであり、介護者に代わるものではないという考えや実際の利用者、利用方法などを知見することで、ベトナムにおいて近い将来直面するであろう課題をじっくり考える機会となったようです。講義や訪問地での積極的な質問姿勢は印象的でした。

②日本の創薬および臨床研究の最前線をテーマとしたプログラムでは、日本の基礎研究に基いた創薬とその基盤となる先端技術の習得を目的とし、本学での講義、実習の他、製薬企業、大学研究施設、病院等を訪問し、最先端の創薬環境の学びと臨床薬剤師としての知見を得ることを目指しました。実験への熱心な取り組み、積極的なディスカッションは双方にとって大変有意義な時間となりました。

ベトナムの学生が楽しみにしていた日本食、本学学生宅でのホームステイ、温泉体験は、多くの本学ボランティア学生が主体的に準備をし、大いに交流することができました。新たな友人を得、両学生にとって特別な機会となったことでしょう。

将来、母国の保健医療政策に大きく関わるであろう優秀な招聘学生を迎えての学術的、文化的な相互交流プログラムが継続的に行えることは、本学にとって大変喜ばしいことです。

ご多忙中、尽力くださった全ての方々に深く感謝申し上げます。

* 本プログラムは、日本・アジア青少年交流事業(さくらサイエンスプラン)として採択され国立研究開発法人科学技術機構の支援により、1.「医療・福祉分野における最新 ICT・ロボット技術 一日越の医療・福祉協力に向けて」、2.「日本の創薬および臨床研究の最前線～分子・細胞レベルから臨床レベル、その未来まで～」をテーマに遂行された事業です。



ウェルカムセレモニーの後で



支援ロボットの講義でハイテク車椅子体験



製薬企業訪問



フェアウェルパーティーで踊りの披露